



十中だより

令和4年3月11日
文責 奈加晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

卒業おめでとう！！

3年生のみなさん、卒業おめでとう！！。あと、数日で卒業式となりました。この写真は君たちの入学式の写真です。自分で見ても、大きくなったなあと思いませんか？どこことなくあどけなさが残っているような感じが、今では青年といえるような顔つきになりましたね。



いよいよ義務教育の終わりが来ました。これから進んでいく道は、進まなくてはならないのではなく、自分で進もうと思って決めた道です。これからの人生を生きていくなかでは、選択を迫られる時が幾度となく出てきます。右に行くのか、左に行くのか・・・進むべきか、止めておくべきか・・・しかし、決断した後は精一杯努力するしかありません。どちらを選択したほうが良いのかは、その時にはわからないわけですから、くよくよするよりも、選んだ道を信じて頑張るほうが良い結果につながる人が多いと思います。

昨年も三月号で書きましたが、「努力は必ず報われる」「努力は人を裏切らない」と言われますが、この言葉の意味を間違えないようにしてもらいたいです。どんな人でも努力すれば夢は叶うと言っているわけではありません。もちろん、努力が結果につながればそれに越したことはないですが、そういう意味ではなく、努力したことは自分の中に必ず残っているという意味にとらえて欲しいと思います。その時思い描いた目標に向かって努力したことは、自分の中に大きく残っていて、その先新たな目標に向かう時に必ず大きな力を生み出してくれるはずですよ。



「成功は99%の失敗に支えられた1%」です。これからの君たちの活躍を大いに期待しています。

震災について

今から11年前の3月11日 14時46分に、東日本大震災が起こりました。

大規模な地震と、津波や火災が東北地方を襲い、18,425名もの尊い命が失われた日になります。

地震と津波の被害は、福島第一原発を襲い、いわゆるメルトダウンという状態になり、高濃度の放射線が放出されてしまいました。放射能の汚染は今もなお残っており、11年経った今でも帰宅困難地域があり、除染作業も続いています。

平成7年の1月17日には、阪神・淡路大震災もありました。震度7という想像を絶する地震が神戸の街を襲い、6,434名の方が亡くなられました。

生徒の皆さんは、東日本大震災さえ小さくて記憶に残っている人は少ないのかも知れませんが、私は阪神・淡路大震災も克明に覚えています。朝の5時46分、その時は大淀町に住んでいましたが、ものすごく大きな揺れを感じ、びっくりして飛び起きたのを今でも覚えています。その後出勤し、神戸が大変なことになっていると知り、職場でテレビ中継を見たときには衝撃が走ると同時に、職場の同僚も涙を浮かべてテレビに釘付けになっていたのを覚えています。

世界に目を向けると、ロシアのウクライナへの侵攻はもちろんですが、日本では報道されていない、内戦や紛争は世界各地で今もなお続いています。私たちは平和な日本という国に生まれ、戦争などによって、明日の命の保証がないという立場に立たされているわけではないですが、自然災害という観点で見れば、世界的に見ても日本は地震の多い国です。今後近い将来に起こるであろう、南海トラフ地震は、阪神淡路大震災をゆうに超える規模の被害が想定されています。自然災害は、気を付けていても起こることは避けることはできませんが、起こったときにどう行動するのかを考えておくことや、非常時の備えをしておくことは大変大事です。SDGsの勉強でもしましたが、世の中の人全てが、持続可能なゴールに向けて努力しなければならないことは山積みです。私たち自身、何ができるのかを考えるきっかけにして欲しいと思います。

保護者の皆さまにおかれましては、今年度も学校教育にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度も新型コロナは収まることなく、例年通りの学校生活を送ることはできませんでしたが、今後も子ども達の歩みを止めることのないよう、精一杯の工夫をしながら、努力していきたいと思っております。

ありがとうございました。

